

会 議 記 録

高松市付属機関等の設置、運営に関する要綱の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会議名	平成25年度第1回高松第一高等学校改築基本構想検討懇話会
開催日時	平成25年10月8日(火) 17時30分～18時45分
開催場所	高松第一高等学校 2階大会議室
議 題	(1) 会長、副会長の互選について (2) 改築基本構想素案について (3) その他
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	
出席委員	池内委員、菅委員、白石委員、高木委員、竹内委員、多田野委員、橋本委員、福田委員、松本委員、若井委員
傍聴者	1人 (定員 5人)
担当課および 連絡先	高松第一高等学校 861-0244

会議の経過および結果

(1) 会長、副会長の互選について

多田野委員を会長に、橋本委員を副会長に選出

(2) 改築基本構想素案について

事務局 改築基本構想素案について説明

〇〇委員 中学校現場では、将来の大学進学を見据えて力を注いでおり、生徒・保護者の希望も含めて、一高には進学校としての現状の形を維持して欲しい。

〇〇委員 教育内容の専門的なことはよく分からないので、踏み込んだ意見は出しにくい。ただ、同窓会の役員会で聞くかぎり、生徒や先生はがんばっていると思う。

〇〇委員 美術、音楽については、これまでの経験があるので問題ないと思うが、演劇については、あまり馴染みがないので、本当に人が集まるのか、ニーズはあるのか疑問である。

〇〇委員 演劇については、どうだろうという感じがする。全国の公立学校で、演劇科を設置しているところはあるのか。

事務局 公立高校で演劇科を設置しているのは、全国で5校程度で、定員も1クラスである。

〇〇委員 地元の子供たちや保護者は一高に憧れている。特に一高の特別理科コースや国際文化コースに入りたいということをよく聞く。普通科の中で選択できるコースが色々あるのは良いと思う。

〇〇委員 音楽の中で演劇を取り入れることはあり、一高に演劇のコース等ができて面白と思う。しかしながら現実問題として、うまくいくのかと言われると自信がない。

〇〇委員 演劇科の教員免許はどうなっているのか。
科を設置した場合、20単位以上の取得が要件になる。誰が教えるのか、どのような授業内容になるのか見えてこない。

事務局 「演劇」の免許はない。全国の演劇科を設置している高校では、クラス担任は普通科の教師が行い、演劇の授業は外部講師で対応しているようだ。

〇〇委員 高松一高において、現在、特に問題がなく、ニーズもないのであれば、現状を変える必要はない。ただ、演劇は表現教育として、表現力やコミュニケーション能力を育てる手段として有効である。一高で演劇人を育てるのか、もしくは演劇を通して別のものを学ぶのが問題だが、演劇科を設けなくても、演劇行為を教育の中に取り入れることは意味深いことである。

学科として取り入れることは難しいかもしれないが、演劇にはいろいろな要素があり、ワークショップなどの形で活用する方法もある。小学校では、コミュニケーション能力を高めるため、演劇教育を行うところも増えてきた。

〇〇委員 演劇科というと演劇人を育てることと思っていたが、他にも様々な効果があるということが分かり、とても参考になった。

〇〇委員 芸術は特定された中にあるが、文化は一般的なことである。従前のような教育だけでなく、学校教育にも文化資源を取り入れていく時代になってきたのではないか。

高松市にも多くの文化資源があり、サンポートホールとの連携やワークショップなど、色々な方法がある。

高松市の優秀な人材の流出を防ぐためにも役立つのではないか。

(3) その他について

事務局より、次回の会議の開催予定について説明

閉会 (18:45)